

県病ニュース春号

2020年
5月
No.213

【理念】奉仕・信頼・進歩 当院は敷地内全面禁煙です。

『県立病院職員の職種について』



院長 上 敏郎
井 上 敏郎

現在の県立病院職員の職種について少しばかりご説明しようと思います。元来、病院には医師、看護師、助産師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、事務、看護補助者、調理員、警備、清掃、搬送など多くの職種の職員が勤務しています。

最近では、業務の細分化、専門分化がさらに進んで新たに診療情報管理士、臨床工学技士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、視能訓練士、社会福祉士、精神保健福祉士、臨床心理士、医師事務

補助者が加わりました。その上、それぞれの職種に職位があり、医師であれば部長、副部長、主任医師、医師、後期研修医（専攻医）、初期研修医があります。一般の方々、患者さん方にとっては誰が何やらさっぱり分からない、馴染み深いのは医師、看護師、薬剤師という方も多いのではないのでしょうか。

近年、医療費の増大にともなう医療全体での費用、材料、人材、時間、情報の無駄をなくし、医療の効率化、集約化、連携化、地域完結化が待ったなしに進められています。県立病院の役割は一言でいえば民間では行い難い高度先進、急性期医療ということになります。短期集中、集約的に良質な安全な医療を提供す

るために、それぞれの役割に専念特化した多くの職員が連携して患者さんに関わることになります。

このような病院の事情に慣れてない患者さんにとっては病院の流れは目が回るような、振り回されるような印象を持つてしまうかもしれません。

そこで県立病院では前もって計画が立てられる場面、立てられない場面をそれぞれ区別して対応しようとしています。既に診断がついて検査や手術、薬物療法などの計画が前もって立てられる場合は、できる限り早め早めに患者さんに今後の流れを説明した上で同意していただき、できる限り円滑に進むように工夫し、また、前もって計画が立てられない救急医療は、疾患の内容に応じて臨機応変

に説明を加えながら診療が進むようにしていこうと努めています。

それぞれの職種間でちぐはぐな流れが生じることなく上手に連携しながら患者さんに対応していけるよう、病院全体で今後とも努力を重ねたいと思っておりますのでどうぞご理解とご支援を宜しくお願いします。



看護師ほか
医療スタッフの
臨時職員を募集
しています。
詳しくはこちらから



県立病院の新たな取り組み

がん医療・がんとともに生きる患者さんを支える

大分県立病院は、令和2年4月から3年間、県内唯一の地域がん診療連携拠点病院(高度型)として指定されました。また、3月末には外来化学療法室を大幅に拡大し、従来は入院して治療していた患者さんも、外来でゆったりとがん化学療法を受けていただくことができるようになりました。

さらに、緩和ケアセンターを中心とした専門性を持つ看護師によるがん看護外来の開設や、がん相談支援センターで生活上のさまざまな相談を受けるなど、がん患者さんを支える取組に力を入れています。

がんの種類別では肺がん、乳がん、リンパ・血液がん、結腸・直腸がん、子宮頸がん、胃がん、前立腺がんの順に院内がん登録件数が多く、多数のがん腫について手術、放射線治療および薬物療法を効果的に組み合わせた集学的治療を提供できる体制を有しています。

今後ともますます高度化、専門化するがん医療に対応できるよう努めるとともに、地域との連携を密に取りながら、がん患者さんによりよい治療を提供してまいります。



周産期母子医療・ハイリスクでも小さな命を守る



総合周産期母子医療センターでは、令和2年4月から、新生児科看護師、助産師を20人増員し、NICUを3床増床しました。これまでも当センターは低出生体重児や早産児、先天性の病気などで集中治療を要する新生児に高度な専門医療を24時間体制で提供してきましたが、今回の増員増床により、当院新生児科はNICU12床、集中治療後の回復期のためのGCU(新生児回復治療室)24床を有し、県内最大規模となります。センター内に併設する産科にはハイリスク妊娠の治療のためのMFICU(母体胎児集中治療室)を6床有し、県内唯一の総合周産期母子医療センターとして、他の地域周産期母子医療センターと連携しつつ、最善を尽くし、お母さんと赤ちゃんへ最良の医療を提供する役割を果たしていきます。

精神医療・「人権擁護と安全」を合い言葉に

令和2年10月に精神医療センターを開設します。(1階: 外来、2階: 病棟36床)

精神医療センターでは、24時間365日、他施設では対応困難な精神科急性期の患者さんや身体合併症の患者さんに対して短期・集中的な治療を行います。

治療にあたっては、患者さんの人権に十分配慮するとともに、安全管理を徹底します。また、当院の他の診療科と密接に連携することはもちろん、院外の医療機関や関係機関と連携して、患者さんの早期の社会復帰を目指します。





看護外来



患者さんやご家族のよりよい生活を目指し、病気の自己管理や様々な不安など一人ひとりのお悩みやご希望に対応するため、各分野で専門性をもつ看護職が看護外来を開いています。医師や医療ソーシャルワーカー等の多職種と連携し、患者さんにご家族の生活をサポートします。

当院の看護外来は予約制です。



お気軽に
ご相談
ください。



がん看護外来

●月～金曜日 9:00～16:00

がんの症状や生活面の不安や気がかりについて、解決策を一緒に考えます。

【料金】保険診療内

【こんなお悩みありませんか】

- ・自分に一番いい治療法は？
- ・仕事は続けられる？
- ・気持ちが落ち込んでしまう

ストーマ看護外来

●月～金曜日 9:30～16:00

ストーマを造設された方の退院後の生活を支援します。

他院で手術された方の相談も受けしています。

【料金】保険診療内(ストーマ装具1回分を持参してください。)

【こんなお悩みありませんか】

- ・ストーマのまわりがかゆい、赤い。
- ・サイズはこれで合っている？

【お問合せ】

月～金曜日 13:00～16:00

人工肛門(消化器外科):

097-546-7214

人工膀胱(泌尿器科):

097-546-7239

小児(小児科):097-546-9101

リンパ浮腫外来

●金曜日 9:00～16:00

リンパ浮腫に関する知識提供や生活指導を行います。

【料金】保険診療内(弾性着衣の購入には別途費用がかかります。)

【こんなお悩みありませんか】

- ・リンパ浮腫を予防するには？
- ・弾性着衣をどうつけたらいいの？

心不全看護外来

●木・金曜日 9:00～16:00

患者さんやご家族が心不全とうまく付き合いながら生活していく方法を一緒に考えます。

【料金】保険診療内

【こんなお悩みありませんか】

- ・心不全って何に注意したらいいの？
- ・心不全がこれからどうなっていくのか不安。

母乳育児外来

●火・木曜日 14:00～ 15:00～

当院で出産された方を対象に、おっぱいのケアをしながらゆっくりお話をお聞きします。他院で出産された方の乳腺炎のケアも行っています。

【料金】2,100円程度

タオル2枚を持参してください。

【こんなお悩みありませんか】

- ・乳房や乳頭の痛み、しこり、張りがとれない。
- ・赤ちゃんとのタイミングが合わない。

腸溶錠や徐放錠は 嚙んだり割ったりしないでください

皆様が服用されている薬の名前に“…腸溶錠”、“…CR錠”などが付いているのを見たことはありませんか？これらの薬は、薬の効果が失われないようにするためなどの理由により、薬の製造過程で様々な工夫がされている薬です。

●腸溶錠

胃酸によって効果が失われる有効成分や胃にダメージを与える有効成分などが胃で溶けずに腸で溶けるようにしている。

●徐放錠

薬がゆっくり溶け出すことにより、少しずつ体内(血液中)に吸収されるようにしている。効果が長く続き、服用回数が少なくてよい。薬の名前に“L”や“CR”などが付けられている。

腸溶錠や徐放錠を服用している場合は、薬を割ったり嚙んだりして飲んではいけません。徐放錠であれば、有効成分が短時間で多量に体内に吸収されるため、たとえば降圧剤の場合、急激な血圧の低下を引き起こします。腸溶錠であれば、十分な効果が得られなかったり、胃障害を引き起こしたりする可能性があります。

薬の名前から腸溶錠や徐放錠とわからない薬もあります。ご自身の薬が、どうしてもそのままの大きさでは飲みにくい場合は、割って飲んでもよい薬か薬剤師にご相談ください。

(薬剤部 薬剤師 田中幸代)



HbA1c (ヘモグロビン・エーワンシー) のお話

採血した血液でおこなう糖尿病の検査には様々なものがありますが、HbA1c(ヘモグロビン・エーワンシー) という検査をご存じでしょうか？

HbA1cとは、赤血球中のヘモグロビンが血液中の糖と結合したもののどのくらいあるかを示した数値で、血液中の糖が多ければ多いほど、値は高くなります。これは、血糖と同じ採血管で同時に検査ができます。

ヘモグロビンはゆっくり時間をかけて糖と結びつく性質があり、赤血球の寿命であるおおよそ120日間、一度結びつくと離れることはありません。つまり、血糖値が高い状態が続くとHbA1cはゆっくり増加し、下がる時も同様に、赤血球が寿命を迎えることでゆっくり変化していくため、検査日の1~2か月前の血糖の平均を反映しています。



糖尿病の三大合併症

腎症

網膜症

神経障害



HbA1cが7.0%以上になると、様々な合併症を引き起こす可能性が高くなると言われています。特に糖尿病の三大合併症である、腎症・網膜症・神経障害には注意が必要です。

HbA1cは短期間で数値が下がるものではありませんが、1~2か月の間、血糖値が改善されると確実に下がります。よい血糖コントロール状態を維持するよう、地道な取組を続けることが大切です。

(臨床検査技術部 臨床検査技師 佐藤恭子)

看護部だより

冊子「My Life ～がんと共に生きる～」についてのご案内

今回は当院で新たに作成した冊子「My Life ～がんと共に生きる～」についてご紹介します。この冊子は、がんと診断された患者さんが、ご自身の病気を知り納得した治療方法の選択や、それに伴う人生設計についてご家族や医療者を含め、話し合いながら考えるためのもので、がんセンターとがん看護サポートチームが作成しました。



2月末より院内での配付を開始しています。**継続的に当院に通院するすべてのがん患者さんを対象**にしています。主治医、看護師、薬剤師、ケアマネージャーなどと、より良い医療・看護・介護を考えていくための情報共有の方法としても活用できます。

盛り込まれています!!
このような内容が

- I. がんと告げられたら
- II. 大分県立病院での体制や取組
- III. 大分県内のがんに関する相談窓口
- IV. 旅行時や災害時のポイント
- V. 医師との面談で確認したい事項
- 私のカルテ

冊子の後半には、「私のカルテ」として、ご自身の病気や治療などについて記録するページがあります。“今”と“これから”の自分の人生を生きていくために役立てられるよう、大切な情報を書きとめていただければと思います。気になる方は、お近くの外来・病棟看護師までお問合せください。

(がん化学療法看護認定看護師 甲斐夕里江)

放射線技術部だより

CT装置が新しくなりました

令和2年4月よりCT装置が1台増設、1台更新となり既設と合わせて合計3台体制でCT検査を行うことになりました。新しいCT装置の特徴は

- ①検出器が大きくなり一度に最大16cm幅の撮影が可能です。以前よりも短時間で広範囲の撮影が可能となり、小児や息止めの難しい患者さんの検査に対しても有用です。心臓の血管を写す心臓CT検査が1秒足らずで撮影可能となります。
- ②同時に2種類のエネルギーのX線で撮影を行うDual Energy CT撮影が可能となります。従来よりも少量の造影剤で、以前と同等の画像が提供できます。また、体内金属による画質劣化の低減が図られます。

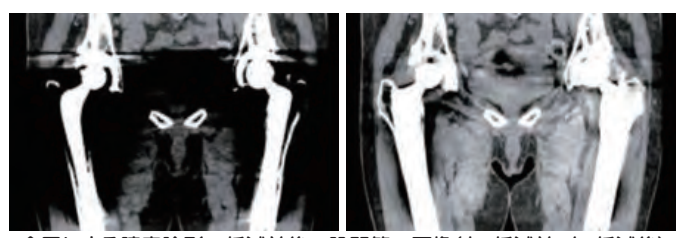
3台体制になることで少しでも待ち時間の短縮を図り、努力していきます。そして、被ばく低減、安心安全な医療を提供することにより、患者さんに安心して検査を受けていただけるように努めていきます。



GE社製Revolution CT本体



大腸のエアイメージ



金属による障害陰影の低減前後の股関節の画像(左:低減前、右:低減後)
(放射線技術部 診療放射線技師 大津秀光)

「食欲がない時のひと工夫」シリーズ<その4>

食事中に思わず舌や口の中を噛んでしまい、そこから口内炎ができてしまったという経験は誰しもあることだと思います。病院でもがん治療の副作用やストレスから口内炎ができ、食欲が低下する患者さんもいらっしゃいます。

こんな場合は、食事や食べ方をひと工夫してみませんか。

工夫の基本は「柔らかく薄味で、温度は人肌以下に!」です。

①柔らかく

魚類:刺身・焼魚より、煮汁多めな煮魚で

肉類:焼肉・空揚げより、あんをかけた肉団子で

野菜:和え物・炒り物より、水分たっぷりの煮物で

②薄味で

ダシを活用してできるだけ薄味に、逆に香辛料や酸味は控えましょう

③温度は人肌以下に

冷奴、冷たいポタージュ、ゼリー、プリン、アイスクリーム

食べる時は、一口大で傷のない方で噛む。液状の料理はストローで飲むと痛みを感じにくくなります。

当院では、がん治療の副作用に配慮した「さざんか食」という料理を用意しています。詳しくは、がん相談支援センターにお問い合わせください。



写真は一例です。

(栄養管理部 副部長 津田克彦)

医事班からのお知らせ

医療費自動精算機を導入しました。

当院では患者さんのプライバシーに配慮し、令和元年12月から治療費のお支払いを、窓口から自動精算機による支払に変更しました。

これにより、これまでのようにお名前でお呼び出しすることがなくなり、患者さんからは「プライバシーが守れる」「精算が早くなった」「クレジットカードが使いやすくなった」などの感想が寄せられています。

これからも一層、患者サービスの向上に努めて参ります。

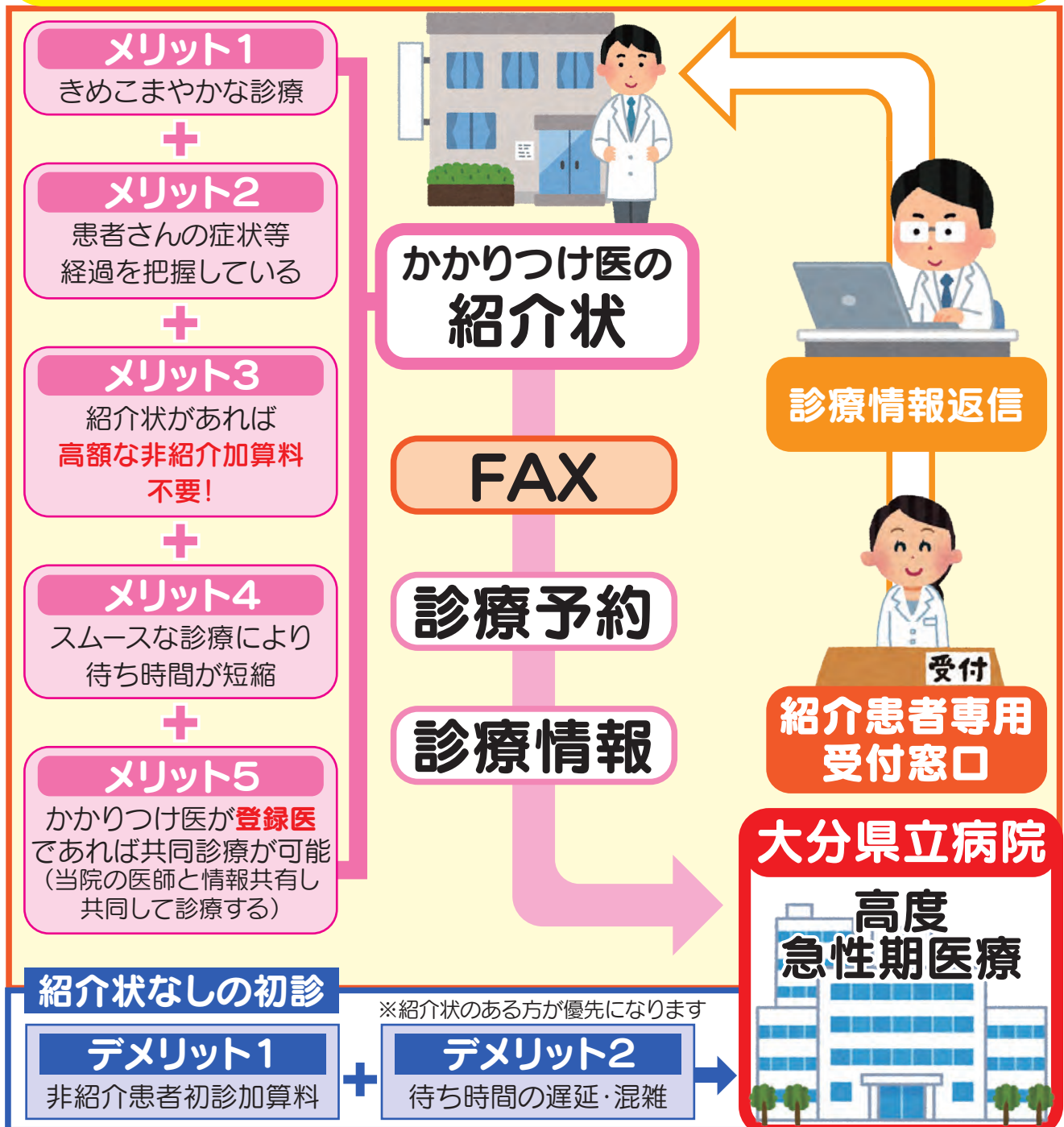


医療ネットワーク

上手な医療のかかり方のご紹介

当院は、地域の医療機関(登録医)と連携しています。

気軽に相談できる「かかりつけ医」を持ちましょう!



(文責 患者総合支援センター 東原清美・宇都宮徹)

外来診療一覽表

注) 診療日が変更になる場合もありますので、予めご了承ください。
(令和2年5月1日現在)

診療科	曜日	月	火	水	木	金
循環器内科		○	○	○	○	○
内分泌・代謝内科		○	○	○	○	○
消化器内科		○	○	○	○	○
腎臓内科		休診	○	休診	○	休診
膠原病・ リウマチ内科		○	休診	○	○	○
呼吸器内科	新患 再来	○	○	○	○	○
呼吸器腫瘍内科		○	休診	○	休診	○
血液内科		○	○	○	○	○
神経内科		○	○	○	○	○
外科	消化器 乳腺	○	○	○	○	○
脳神経外科		手術日 休診	○	○	○	手術日 休診
呼吸器外科		手術日 休診	○	手術日 休診	○	○
心臓血管外科		○	手術日 休診	○	手術日 休診	○
整形外科		○	○	手術日 休診	○	○
形成外科		休診	手術日 予約のみ	○	○	○
眼科		○	手術日 予約のみ	○	手術日 予約のみ	○

診療科	曜日	月	火	水	木	金
耳鼻咽喉科		○	○	手術日 休診	○	手術日 休診
婦人科	新患 再来	○	手術日 休診	○	手術日 休診	○
産科		○	○	○	○	○
小児科		○	○	○	○	○
新生児科		○	○	○	○	○
小児外科		○	○	○	手術日 休診	○
内視鏡科	消化管 気管支	○	○	○	○	○
皮膚科		○	手術日 休診	○	手術日 休診	○
泌尿器科	新患 再来	○	手術日 休診	○	手術日 休診	○
精神神経科		○	○	○	○	○
緩和ケア外来		○ 15時から	休診	休診	休診	休診
放射線科		○	○	○	○	○
歯科口腔外科		○	予約のみ	○	予約のみ	○
外来化学療法室		○	○	○	○	○
診療科の判断が 困難な場合の 担当診療科		消化器 内科	1・3・5週 内分泌・ 代謝内科	呼吸器 内科	神経 内科	血液 内科

アクセス

至野津原
至狭間
至賀来

光吉IC
至竹田・佐伯

大分IC
永興

大分駅前
南大分駅前

大分県立病院

JR: 大分駅からタクシーで約15分または
南大分駅前からタクシーで約8分
バス: 大分駅前バス停からバス・徒歩を含めて約25分
(大分市内中心部から約25分間隔で運行)
駐車場: 有料駐車場(約400台)完備(1時間まで無料)

受付時間 午前8時～午前11時

診療開始時間 午前8時30分

救急患者は24時間受入

休診日 土・日・祝日・年末年始
(12月29日～1月3日)

紹介による受診に関する事は…

地域医療連携室
平日(土・日・祝日除く)
午前8時15分～午後5時(受付は11時まで)
TEL 097-546-7129
FAX 097-546-7368

療養中の心配事や不安などは…

患者総合支援センター
平日(土・日・祝日除く)
午前8時30分～午後5時
TEL 097-546-7125

Oita Prefectural Hospital
大分県立病院

〒870-8511 大分市豊饒2丁目8番1号

TEL 097-546-7111～2(代表) FAX 097-546-0725 総務経営課広報係

E-mail a80200@pref.oita.lg.jp ホームページ <https://www.oitapref-hosp.jp/>

※当ニュースへのご意見・ご感想は1階中央待合ホール備付けのアンケート用紙をご利用ください。

